

総務文教委員会記録

令和7年2月10日（月）
10時02分～12時15分
第2委員会室

【委員】 芦谷委員長、沖田副委員長、村武委員、岡本委員、永見委員、西田委員

【議長・委員外議員】

【事務局】 松井書記

【議題】

1 【取組課題】 地域交通について（委員間で協議）

2 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[10 時 02 分 開議]

○芦谷委員長

ただいまから総務文教委員会を開会する。出席委員は5名で定足数に達している。永見委員からは遅れるとの連絡を受けている。レジュメに沿って進める。

1 【取組課題】地域交通について（委員間で協議）

○芦谷委員長

これについては、副委員長が作成された素案を基に議論することになったので、今日はそれを重点にして進めようと思っている。

副委員長から説明をお願いします。

○沖田副委員長

提言の素案を参照されたい。1番は「公共交通と地域交通について」としている。中山間地を中心に、利用者の少ないバスが走っている。そこに多額の税金を投入して赤字補填を行っていることは課題である。限られた市内のバスやタクシーを運行する事業者を効率的に動かして、地域の実情に応じた交通体系をつくるべきだということを書いている。まず、このことを提言に盛り込むべきかどうか、皆の意見を聞きたい。

これを1番に持ってきたのは、今回の取組課題の中で、あいのりタクシーを運営しているまちづくりセンター16か所にヒアリングした際に、各地域で非効率なバスの運行はどうなのかという話を随所で聞いたので、やはりこれは提言に盛り込んでやっていくべきだという気がしている。皆から意見があれば聞きたい。

○村武委員

副委員長が素案の中で「公共交通と地域交通について」として書かれていることはもっともなことだが、全体的なことだと思う。その後にあいのりタクシー等の具体的なことも出てくるので、このように一つの項目にしたほうが良いのか、それとも全体に持ってきたほうが良いのか、ほかの委員の意見を聞きたい。

○西田委員

冒頭の「はじめに」の中にもこういった内容が含まれている。浜田市としても、これまで公共交通と地域交通についていろいろな施策を考えてきたと思うので、念を押すような意味合いで入れるのも良いし、もう一步踏み込んだ意味で入れるのも良いと思う。これまでやってきたことを含めて「はじめに」に含んでも良いとも思う。それほど深く考えてはいなかったが、私も村武委員と同じような感想である。

○岡本委員

私も自分なりに意見を整理して提案してみたが、最終的にどうするかは正副委員長にお任せしたい。「はじめに」は少し短くても良いように思う。入り口に自分たちがやってきたことを少し述べて、課題を列挙していくまとめ方をしてみたので、正副委員長に検討をお願いしたい。

○芦谷委員長

岡本委員の提案について、少し説明してもらえないか。

○岡本委員

浜田市における地域交通施策の現状と課題ということで、副委員長がつくられた素案に加筆した。

はじめに、浜田市では、ＪＲ、民間路線バス、生活路線バス、予約型乗合タクシーが運行されているが、人口減少や高齢化の影響で利用者数が減少し、運転者不足による減便や廃止が増加している。市では予約型乗合タクシー事業、あいのりタクシー等運行助成事業、敬老福祉乗車券事業などの対策を講じているが、持続可能な地域交通の確立が急務となっている、としている。

委員会の取組についても副委員長の素案にある。総務文教委員会は地域交通の課題解決に向けて次の活動を実施した。地域井戸端会26会場での意見聴取、担当課への聞き取り、15団体の事務局を担うまちづくりセンターへのヒアリングを7月から8月に実施、岡山県真庭市の「チョイソコまにわ」、千葉県香取市の「かとくる」の視察といったことを挙げている。

提言内容としては、1番は「公共交通と地域交通の最適化」と表現し、バス便の減少が進む中、限られた交通資源を有効に運用し、最適な地域交通網を構築する必要がある。それから、交通会議で運用計画を見直し、地域の実情に即した交通体系を確立する。

続いて、2番は「担当部署の強化」として、地域交通の重要性を踏まえ、現在の公共交通係を格上げし、地域交通の充実に向けた体制を組む。これは副委員長案と同じだと思っている。

3番は「敬老福祉乗車券の拡充」で、免許返納者や障がい者、遠隔地住民への支援強化を検討。将来的には地域交通の整備状況に応じ、制度の見直しも視野に入れる。本当は「10年後」と書こうかと思ったが、「将来的には」と表現してまとめた。

4番は「あいのりタクシー等運行支援事業の見直し」で、まず「運行形態の最適化」は、予約型乗合タクシーとあいのりタクシーの併存による非効率性を解消し、ニーズに応じた運行を構築する。「予算の柔軟化」は、過疎地域では運賃が高額となるため、地域事情に応じた予算設定を検討する。「制度の課題」は、地区まちづくり推進委員会の事務負担軽減策を検討。「マッチングの困難性」は、二人以上の乗車義務があるが、調整が難しいため見直しが必要。「M a a Sの導入」は、デジタル機器を活用し予約や決済を効率化し、運行会社の省力化を推進。

5番の「自治会輸送・ライドシェアの推進」は、羽原、大麻、井野地区での自治会輸送の事例を他地域にも展開。ライドシェアを含めた新たな交通手段を検討する。

このような形で私なりにまとめた。これを正副委員長で検討されるものと私思う。

○芦谷委員長

岡本委員が提案された内容について、皆から質問などはあるか。

○沖田副委員長

岡本委員の案は私の素案をより分かりやすくまとめられたものだと思う。ただ、内容はそうだとすると、具体的に何をという肉付けをしないと提言書としてどうかという気がする。表現方法が違うだけで内容はそれほど変わらない気がする。

1番についてもう一つ言うと、この素案は香取市に視察に行く前につくったものである。香取市視察の一番のポイントは公共交通の再編だったと思う。香取市の地図を見ると、周辺地域と市街地域の色の濃淡がはっきり分かれていた。市内全域でより便利な交通を走らせるのはもっともだが、とはいえ旧浜田市内の市内循環や江津益田便のバスなどの公共交通まで改めるのかということ、それは少し違う気もしている。もっと単刀直入に言うと、旧那賀郡を中心に市が運営するデマンド交通で交通を細分化して、旧浜田市内は石見交通のバス路線を生かしつつやっていく、といった大まかなものを今はイメージしている。視察を踏まえてそういうことも言葉の中に盛り込んでいくのかは私の一存で決められることではないので、その辺も含めて皆と協議したい。

○松井書記

副委員長に確認したい。「公共交通と地域交通について」とされているが、ここでの公共交通と地域交通とは、どのように使い分けておられるのか。

○沖田副委員長

ここでの公共交通は石見交通のことを指す。地域交通は浜田市がやっているあいのりタクシーと予約型乗合タクシーのことを大まかに指している。もっと言えば、旧那賀郡はあいのりタクシーや乗合タクシーを充実させて、民間路線バスはもう引いてもらったほうが良いのではないかと私は言いたい。

○松井書記

浜田市地域公共交通計画では、地域公共交通とはＪＲ、民間路線バス、市生活路線バス、市予約型乗合タクシー、民間タクシーのことだと書いてあり、公共交通、地域交通という言葉の使い分けはしていない。副委員長の素案では、公共交通とは民間路線バスをイメージしているということによろしいか。

○沖田副委員長

はい。ただ、地域公共交通に市の予約型乗合タクシーが含まれているのは何とも微妙だと思う。

○芦谷委員長

基本的には、委員会の提言も、市の文言に合わせて整理したほうが良いだろう。

○岡本委員

それは正副委員長に精査してほしい。私は、あまり長くてもいけないと思っている。私が提案したものも、これだというものは見えておらず、課題を指摘したぐらいのことで、現時点ではそれくらいしかないのかなと思う。だから提言という位置付けになるのか中間報告になるのかは私の中で微妙である。我々には10月までという区切りがあるので、それを意識してどこまでやるか。結局のところ、何回も協議することは間違いではないが、まとまらない。検討すればするほどいろいろな意見が出てくる

し、おおむね意見が出尽くしたのであれば、方向性も含めて正副委員長に整理してほしいと思う。

○芦谷委員長

沖田副委員長の案と岡本委員の案を比べて、入れ込める部分があれば入れ込むということによろしいか。

○岡本委員

私の案は副委員長案に少し足したぐらいのものなので、文言の整理も含めてあとは正副委員長にお任せして、でき上がったものを我々に出してもらえば良いのではないかな。

○西田委員

提言を出すということで、今はそれぞれの項目でまとめているが、市もおそらく同じようなことを考えて、現状の浜田市のいろいろな地域公共交通ができ上がっていると思う。我々が、現状をベースに、もっとこれをするべきだとか、こうすれば良い方向に変わる、プラスアルファの効果が出ることを委員会が自信を持って言えることが提言だと思う。現状をまとめただけで、もっと検討、研究したほうが良いと言うだけなら市と同じ意識のレベルである。提言となると、もう一段、強い自信を持って、現状よりも何かプラスの効果が見られるようなことを入れないと、提言と言えるのかと思う。中間報告ならこれでも良いが、提言となると、もう一歩上を行くべきではないかという気がする。

○岡本委員

そうすると、現時点でこれを提言にすることについてはまだ我々は協議していないし、提言に値するものはない。整理したものを3月定例会議に出したいと内々に聞いたが、提言という形で出すのは間に合わないだろう。6月か9月定例会議という期間を決めて、そこに持っていかどうかを協議してはどうか。今、課題として出したものは、3月に中間報告的なものとして出すべきではないかと思うので、その辺を協議してほしい。

○西田委員

もう少し協議して、これがというものが一つでもあれば、それを提言に盛り込めば、それはそれで良いと思う。今の案はベースであって、委員会として自信を持って言えるものを何か一つでも入れることができれば、それで提言と言えると思う。

○沖田副委員長

先ほど言った石見交通の話だが、地域公共交通は浜田市の予約型乗合タクシーと生活路線バスも含まれる。そう考えたときに、代表格は生活路線バスの有福線である。大きなバスを走らせて、相変わらず一人二人しか乗っていない。それよりも浜田市がやっているあいのりタクシーをもう少し地域でも落としやすい形にして走らせたほうが効率的だと常々思っている。これからどの路線が廃止になるかは分からないが、その都度浜田市はあのような大きなバスを代替で未来永劫走らせる気なのか、そんな無駄はないということが一番言いたい。村武委員が言われるように、前文で網羅されて

おり、重複している点があるのは自分も承知している。そこをどう表現するか分からないというのが本音だが、香取市に行ったときにつくづくそれを思った。旧那賀郡や中山間地は、公共交通といってもサイズの最適化したほうが良いのではないかと率直に言いたい。

○岡本委員

今の意見に同調するところもあるが、私がこだわっているのは、5年、10年先を見据えてやってくれということを金城や旭で言われた。まず一つは、民間バスの撤退を見据えてくれという話、それから地域の人口動態が変わっていく。それから買い物の場所も、金城や旭からは邑南町や江津市へ行くほうが近い。そのような課題があると言われたと思っているので、そういうことを見据えた柔軟性のある体制をつくるべきだというのがもう一つの提案かなと思う。

これは私の個人的な考えだが、スクールバスは増える部分もあるし、減る部分もあると思う。その活用も視野に入れて提言の中に入れる。石見交通に何かあればすぐ柔軟に対応できるような計画性のあるものにすべきだということを、どこかにうたうと良いと思う。

○芦谷委員長

西田委員が言われるように、もっと前に進む提言も必要なのだろうが、現状ではその都度制度をつくっているので市民に浸透していない。例えばあいのりタクシーにしても濃淡があるし、分かりにくいところもある。結局言いたいのは、所管課をしっかりとさせて、地域に根差して地域に向き合うような体制を一つつくる必要があると思う。あいのりタクシーも自治会輸送も予約型乗合タクシーも生活路線バスも含めて、たくさんあるのが一体これで良いのかどうかということを、再編の検討といったことが一つあると思うのと、スクールバスも加えて検討する視点があっても良い。もう一つ言わせてもらえば、委員長の案として提案したが、ライドシェアを、市民と地域との密着型で、安否確認や高齢者の社会参加といった視点でもっと広めたらどうかと思っているが、皆はどうだろうか。西田委員が言われたように、これだというような提案をするとすれば、どういったものがあるのか。

○西田委員

先ほど副委員長が言われたように、熱い思いがあるという有福線の件などを、もっとこうしたらどうかと市に投げ掛けるのも一つの提案だと思うし、委員長は今、ライドシェアのことを言われた。北海道天塩町はライドシェアを導入しており、稚内に行く人がすごく多いので、稚内まで行く人と行きたい人が登録しておいて、行く人にガソリン代を支払って乗せてもらう。条件は携帯電話を持たなければならないし、マイナンバーカードや保険証を一度市役所に提示して登録しなければいけないが、ガソリン代を支払うだけで利用できるの、結構利用する人が多い。例えばそれを浜田市に置き換えるとすれば、旧那賀郡などの周辺地域の人、地域の中での交通はいろいろあるが、市役所や医療センター、買い物など、市街地へ出掛けたい人が結構いる。しかし例えば三隅や岡見なら、まず駅に行くまでに公共交通を使わなければならない

し、地元の駅から浜田駅までの列車の便が不十分といった不便がある。そういったときに、金城や旭もだが、浜田の市街地への通勤する人がどれくらいいるか。行きと帰りの時間がきちんとしていれば、行きたい人は通勤する人に乗せてもらえる。ガソリン代を支払うだけで連れて行ってもらえる。そのような登録制度のマッチングシステムがもし浜田でもできるなら、民業圧迫と言われるかもしれないが、実際にそういうところもあるので、ライドシェアにもいろいろなやり方があると思う。もっと地域に応じた研究をしていく必要がある。

○村武委員

私も、委員長のライドシェアへの思いは良いと思うが、私自身が良く分かってないところがあるし、当委員会で調査研究もしていないので、もし入れるとしたら調査したほうが良い。西田委員の話を聞いて、そういうやり方ができるなら助かる人も多いのではないかと思った。

○芦谷委員長

私が提案したのは、地域の営みや地域づくりといった面とライドシェアと一緒にできないかということである。西田委員が言われたこととほぼ一緒だが、何かそういうものがあれば、提言にも上がってくる気がする。

○岡本委員

このたび整理したものをどうするのか。提言にするのか、それとも中間報告をするのか。その辺を聞きたい。それによって皆の取組が変わるだろう。提言に近付けたいという意向があるようなので、それなら西田委員が言うように、全部網羅するわけではなく、ポイントを絞って提案する方法もある。しかしたちまちこれを整理した形にはならないと私は思うが、その部分だけで提言になりそうなのか。

○西田委員

提言しようと思えばできるだろう。

○岡本委員

副委員長が言う、車両の関係について提言になるのであれば、それが2点目になるだろう。

○沖田副委員長

示した5項目のうちの最後にライドシェアと自治会輸送を上げている。

○岡本委員

そういう形で、全体を網羅するのでなく部分的でもやろうではないかと皆で決めるなら、それを整理してとりあえず提言してしまうのも手だと思う。どちらにしてもこれは大きな課題だろうと思う。我々が勝手にいろいろ言っているが、まちづくりセンターにはヒアリングしたが各地域の話は聞いていない。提言を示して反応も見ることもしていないので、そういう点でどうかと思うが、とりあえずこの部分はやってしまおうということであれば、それでも良い。

○芦谷委員長

中間報告と言われたが、個人的には、スケジュール的にもう任期が終わるので、

中間報告となると7、8月頃になる。そこまで悠長にやるよりも、この際、柱だけでも立てて提言として持っていったほうが良いと思っている。

○岡本委員

そういうことであれば私も賛成するが、そこについて細かく協議せずに示せるのか。文言整理してもらえないか。これをやるためにまた集まろうと言われても、もう3月定例会議が始まるので、ぜひその辺の配慮をお願いする。

○松井書記

提言の中身の話ではないが、議会改革推進特別委員会では、先般、政策討論会のあり方について協議し、先日議長に検討結果を提出された。特別委員会の中で決まったことは皆も会派内で報告を受けていると思うが、各委員会で所管事務調査に取り組み、提言として市に提出する場合は、議会全体の政策提言とするために、委員長が政策討論会の開催を届け出て、積極的にこれを活用するということが決まった。また、政策討論会を開催するに当たっては、提言書や政策立案書等の完成前に開催するなどして、修正する余地がある段階で政策討論会に提案し、委員外議員の意見も聞いて完成させるようにということが特別委員会で協議して決まった。その点、ご承知とは思いますが再度説明させていただいた。

○西田委員

私は特別委員会の副委員長だが、書記から説明があったように、政策討論会をもっと積極的にやろうということになった。委員会や議員が考えた結果を委員会や個人だけで収めるのではなく、政策討論会を開催して議員全員で協議すれば、ほかのアイデアが入ってより良い政策が提言としてまとまるのではないかとということで、当委員会はこういう提言を出そうと思っているが、皆の意見でより良いものにできないかということで政策討論会を1回やってみれば、また違った良い提言に仕上がるのではないかという気がしている。できれば委員長にお願いしたいのだが、政策討論会をやって、それから提言にまとめても良いのではないかと思う。

○村武委員

私も特別委員会の委員として、委員外の議員にもこの件に関しては意見を聞きたいので、政策討論会を行うのはすごく良いと思う。ただ、範囲が広がると、それだけいろいろな意見も出てくるし、それをまたまとめなければいけないのが大変だと思うので、当委員会でもう少し絞ってはどうか。先ほどから話を聞いていると、絞れるのではないかと思うので。三つなら三つに絞って政策討論会にかけるのも良いと思った。

○岡本委員

絞るというのがよく分からないが、今出ている課題を三つに絞るということか。

○村武委員

今は五つあって、全部出しても良いが、個人的には、例えば三つ目の敬老福祉乗車券の拡充というのも、どのようにすれば良いのか見えていない。これがきちんと提言できるような内容になるなら、それはそれで良いと思う。

○岡本委員

政策討論会に提案するというのか、それとも提言という意味なのか。

○村武委員

政策討論会にもし出すとしたら、委員会からこういう提言書を今考えているということで、丸ごとテーブルに上げる感じになると思う。

○岡本委員

そうでないと前後関係が見えてこないと思う。もしかしたら地域によってここに課題を持っているところもあるし、ないところもある。とりあえず我々が検討したものを上げて、皆の意見も聞きながら討論を交わしたいという位置付けでやる。

スケジュール的にはどういう手順でやるのか。副委員長がつくった素案について皆と議員間討論したいとやっていくのだろうが、再来週には3月定例会議が始まる。どの段階でどういう手順を踏んで、最終的にこの委員会はどこで決着を付けて、提言書を提出するかが見えない。

○村武委員

私もスケジュール的なものはある程度計画を立てたほうが良いと思っていた。日程をどうするかも決めなければいけないが、まずは政策討論会に出すための案をもう少しつくり込んだほうが良いのではないかな。

○岡本委員

三つなら三つだけを出していくのか。

○村武委員

五つでも良いとは思う。

○岡本委員

先ほど絞り込むと言ったのはどういう意味か。

○村武委員

私の表現の仕方が悪かったが、先ほどから聞いていたら、提言としては三つくらいになりそうな感じがしたので三つと言ったが、もちろん三つでなくても良い。ここにある五つを出そうということであればそれでも良いが、範囲が広がればいろいろな意見が出るかもしれないし、それをまたこちらできちんと受け止めて内容を検討しないといけないと思うので、そのスケジュール感も併せて考えていかないといけないのではないかと思った。

○岡本委員

これを進めようと思ったらどういうスケジュールになるのか。3月定例会議が始まるが、組み込めるのか。3月定例会議が終わった後になるのではないかな。

○松井書記

忙しいが、組み込むことができなくはないと思う。まず委員長が政策討論会の開催を申し出ると、政策討論会幹事会が開かれる。幹事会は会派の代表者でメンバーはもう決まっている。そこで政策討論会を開催するかどうかを決定する。

○岡本委員

政策討論会を開催するのは初めての試みなのか。

○西田委員

初めてではない。過去にも開催したことがある。

○芦谷委員長

暫時休憩する。

[10 時 47 分 休憩]

[12 時 12 分 再開]

○芦谷委員長

委員会を再開する。

地域交通については、副委員長がつくられた素案、岡本委員の提案、先ほどの皆からの意見を踏まえて正副委員長で提言につながるような文案を作成し、次の会議でお諮りするということでよろしいか。

(「はい」という声あり)

2 その他

○芦谷委員長

3月定例会議における委員会代表質問については、今回は間に合わないので、取りやめるということにしたいと思うがよろしいか。

(「はい」という声あり)

その他、委員から何かあるか。

○村武委員

先ほどライドシェアのことを勉強すると言っていたが、どうするのか。

○芦谷委員長

3月定例会議中の委員会に時間を設けて担当課に来てもらい、ライドシェアについて説明してもらおう時間を設けようか。

○西田委員

担当課がライドシェアに詳しく、浜田市としてある程度考えているならそれでも良い。行ける範囲内で先進地があれば視察も頭に入れておいて、ライドシェアについて勉強会で話を聞ける講師も探してもらえればと思う。

○芦谷委員長

3月定例会議中に時間を避けて、担当係長くらいに来てもらい、ライドシェアについて説明してもらおう。西田委員が言われたようにライドシェアの先進例について情報収集しながら、良いところがあれば視察しようということではよろしいか。

○村武委員

もう1点、提言までのスケジュール感を考えていただきたい。政策討論会をどうするかということもあると思う。

○芦谷委員長

この次の案を提案した段階で、それについても議論しよう。

以上で総務文教委員会を終了する。

[12 時 15 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員会委員長 芦 谷 英 夫